

アルコールランプの正しい使い方

使用前に確認すること

※実験の前に必ず、「燃えさしいれ」と「ぬれぞうきん」を、用意する

容器やふたが欠けていたり、芯の長さは5mmくらいにする
ヒビが入っていないか



アルコールの量は
容器の8分目くらい

芯がきちんと
アルコールに
入っているか

※ アルコールのつぎたしは
必ず火を消して行う

もしも

アルコールランプを
たお
倒してしまったら

ぬれぞうきんを
かぶせて火を消す

正しい実験の方法



① マッチに火をつけ、芯の横の方から火をつける



アルコールランプで
火をつけない



② 実験がおわったら、
ふたをななめ上から
かぶせて、火を消す



③ 火が消えたら、
ふたを一度とり、
ふたたび、ふたをする



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>